

基幹産業が集積する「南部地区」

新宝ふ頭



【港内位置図】

自動車輸出台数世界トップクラス

名古屋港の背後には我が国を代表する自動車産業が控え、その製品のほとんどが名古屋港と三河港から積み出されています。自動車王国日本において、外国車輸入に対する国産車輸出の規模はその10倍を軽く超えます。

名古屋港は自動車輸出で日本一、世界でもトップクラスを誇り、日本経済を力強く支えています。

令和6年財務省貿易統計によると、自動車の輸出入合計でも台数・金額ともに名古屋港が日本一です。

港内最大の自動車積出拠点

伊勢湾岸自動車道を挟む二つの積出基地から世界へ

完成車輸出の名古屋港における拠点となっているのが、新宝ふ頭にあるトヨタ自動車の積出基地です。伊勢湾岸自動車道を挟んで、南は名港センター、北は東海センターが立地。敷地内には合計約39,000台を収容できるヤードや積出前のサービス工場などが備わっています。

港で働く「ギャング」たち



自動車専用船は、一度に約5,000台もの車を運ぶことができます。その自動車専用船への車の積み込みは、監督者1名、足車ドライバー1名、積込車ドライバー5名、船内車付役2名、車固定役6名からなる「ギャング」という組を編成して行われます。ギャングの数は車の積み込み台数によって変わりますが、1ギャングが1日に積み込む台数は約500台。大型船では5ギャングが編成され、台数によっては2日かかりで積み込みが行われます。

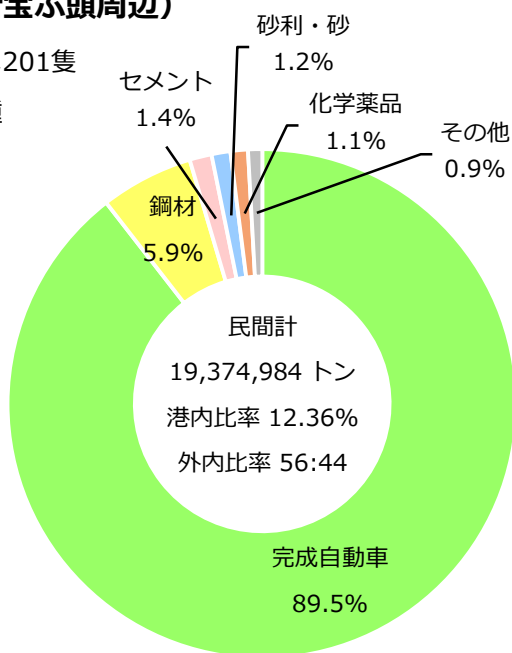
エリア基本データ

ふ頭名称	新宝
旧名称	南1区
臨港地区面積	359.4ha
埋立完成時期	昭和36.12.25～平成5.10.13
バース水深	4～11m

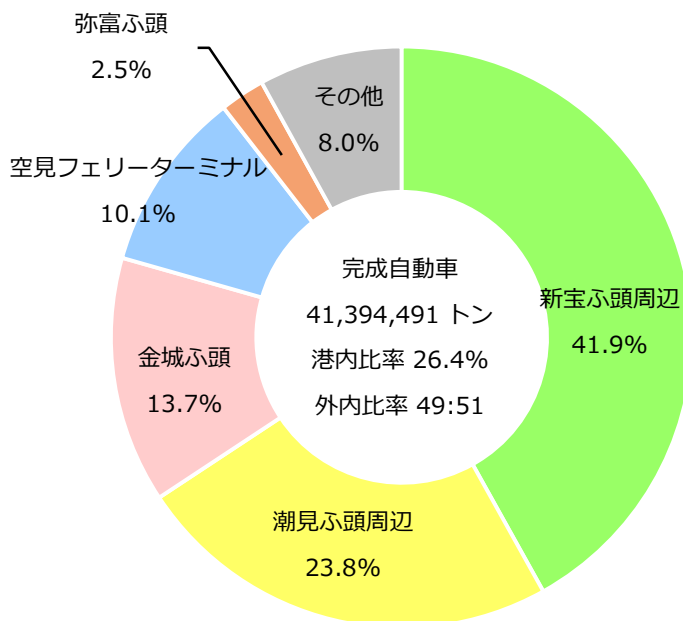
民間計（新宝ふ頭周辺）

係留隻数 3,201隻

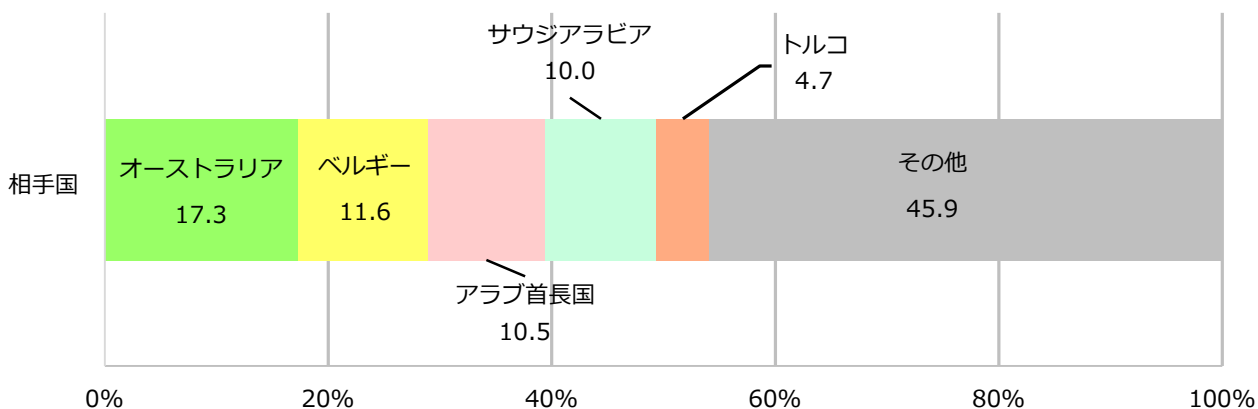
取扱量と品種



完成自動車ふ頭別取扱内訳



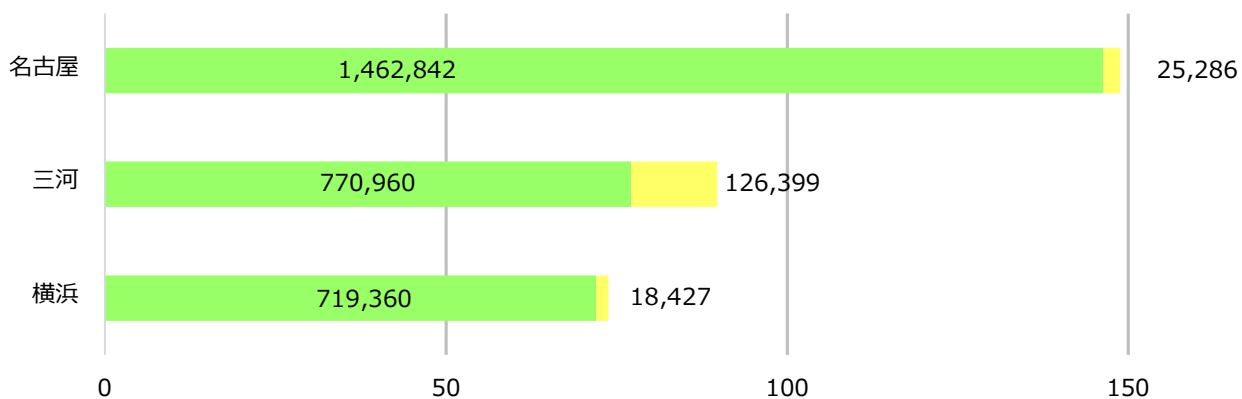
●新宝ふ頭完成自動車輸出 1,080万トン（品種別取扱港内比率 26.1%）



●令和6年自動車輸出入台数（財務省貿易統計より）

（単位：台）

■ 輸出 ■ 輸入



●令和6年自動車輸出入金額（財務省貿易統計より）

（単位：100万円）

■ 輸出 ■ 輸入

